

令和4年度事業報告

令和4年度においては、長引く新型コロナウイルスの影響等により年間を通して厳しい状況となりました。シルバー事業の両輪である「会員の拡大」と「就業機会の拡大」については、厳しい状況の中ではありましたが、会員と役員が一体となって積極的に活動を進めました。

そのようなことから、会員数については、前年度に対して入会者数は増加しましたが、ゴールド会員及び夫婦会員の周知を行うなど退会抑制に努めたものの入会者数を上回る退会者があり、本年度は742名となりました。

請負・委任事業においては、受注件数は184件減少となりましたが、契約金額としては前年度を452万1千151円上回る3億88万6千977円となり、前年度比率101.5%となりました。

また、シルバー派遣事業においては、契約金額が315万6千228円増額となり、就業延日人員については678人の減員となりました。

請負・委任事業と派遣事業と合わせた総契約金額においては、3億4千911万5千162円で、前年度比で102.2%となりました。

安全就業においては、安全パトロール員の定期パトロールに加え、安全委員会の委員による現場パトロールを実施しました。そのような中で、会員の就業中の傷害事故は昨年度より4件増加し、損害賠償事故においては、昨年度より1件増加しました。安全委員会では、依然として減少しない草刈中の飛石事故について、事故発生現場の検証を引き続き実施するとともに就業会員に行ったアンケート調査の結果等を活用しながら、事故防止対策の検討を行っていきます。

また、地域に根差し地域とともに歩むシルバー人材センターをめざし、4年ぶりの開催となった「伊勢まつり」や「福祉フェスティバル」等へ積極的に参加し、普及啓発の推進及び市民交流に努めました。また、社会貢献活動としては、伊勢まつり前の会場周辺の清掃活動や各地区連絡会によるボランティア活動等に多くの会員が積極的に参加いただき、会員の親睦と市民との交流連携を図ることができました。

令和4年度の主な事業の実施状況については、以下のとおりです。

1 主な事業の実施状況

(1) 会員の拡大

- ① 会員の拡大は、シルバー事業を推進するための最重要課題として取り組み、会員募集の活動として、会員募集チラシを年1回新聞への折り込みにより各戸に配布し、市の広報等への会員募集広告を複数回掲載しました。
また、市内のスーパーマーケット等の出入口でのパンフレット配付を3回行い、シルバー事業の普及啓発と会員募集活動に取り組みました。
- ② 新たな取組として、伊勢市総連合自治会の協力をいただき市内全域の自治会に会員募集チラシの回覧を行い、会員募集を行いました。
- ③ ハローワークと連携し、月1回ハローワーク伊勢において入会・お仕事相談会を開催しました。
- ④ 会員数については、入会説明会を年11回開催し参加者132名の内、前年度より20名多い92名の方が入会されました。一方、退会者は123名となり、前年度より2名減少したものの、年度末の会員数は昨年度に比べて31名減の742名になりました。

(2) 就業機会の拡大

- ① 就業機会の開拓及び職域拡大等に取り組むため就業機会創出員を2名配置し、市内93件の事業所等への訪問等を実施し、新たに17事業所からの就業機会を得ました。
- ② 未就業の会員及び長期離職の会員等から相談を受けた就業機会創出員が、情報交換及び就業アドバイスを随時行い就業へのマッチングに努めました。また、就業率の向上を図るため、施設管理業務等の長期就業について適正な就業形態の推進に努めました。

(3) 普及啓発活動の推進

- ① 会員拡大の推進に向け、地域住民への情報発信と理解を得るため、女性の会が中心となり「伊勢まつり」のイベントに参加し、福祉・家事援助サービス委員会では「福祉フェスティバル」に出店を行い、多くの市民が参加する中でパンフレット等の配布やアンケート調査を行いました。
- ② 公共施設等へのパンフレット設置及びポスター掲出、市広報紙「広報いせ」へのシルバー情報の掲載等により、受注開拓及び入会勧誘の普及啓発を行いました。

- ③ 会員への意識啓発及び情報の共有化を図るため、会報誌「伊勢シルバー」を年間2回（第33号・第34号）発行し、全会員に送付しました。
- ④ 会員への情報提供及び情報の共有化を図るため、「事務局だより」を年間4回発行し、全会員に送付しました。

(4) 技能講習・研修等の充実

- ① 草刈機の安全使用に関する技術や技能の習得のため、草刈機安全講習会を開催しました。
- ② 会員の就業に必要な知識や技能を取得する機会とするため、福祉・家事サポート講習会を開催しました。
- ③ 新型コロナウイルスの影響で開催出来なかった救命（AED）講習会を3年ぶりに開催しました。
- ④ 会員が安全に就業し健康で楽しく日常生活を過ごすため、生活に役立つ情報を得たり、地域の歴史文化等にふれる機会として、「シルバー知っ得講座」を2回開催しました。

(5) 安全・適正就業の徹底

- ① 安全就業推進計画に基づき、安全委員会を5回開催し、現場安全パトロールに加え傷害及び損害賠償事故の現場検証を行い、再発防止に向け安全対策の意識の高揚を図る指導を実施しました。
- ② 損害賠償事故率の高い除草・剪定作業及びその他の現場について、安全就業パトロール員を配置し、年間378件（92日）の安全パトロールを実施し、就業前の安全ミーティング等の実施及び安全保護具着用の徹底等の安全指導を行いました。

会員の傷害事故については、全13件のうち蜂刺され・虫刺されが5件ありました。一方、損害賠償事故においては、全18件のすべてが草刈中の事故で、依然として草刈作業中の飛石による破損事故や配管等の切断事故が発生しています。

傷害と損害賠償事故の経過

区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
会員の傷害	16	9	10	9	8	13
損害賠償	11	16	16	14	17	18
計	27	25	26	23	25	31

- ③ 安全・適正就業強化月間中の取組として、1月に安全運転講習会（参加者5名）を開催し、就業途中の交通事故防止、日常の健康管理や自動車の安全運転の方法についての啓発に努めました。
- ④ 適正就業に関しては、「適正就業基準に関する取扱要綱」に基づき、施設管理等の長期継続就業会員に対し就業交代をお願いし、より多くの会員へ公平な就業機会の提供に努めました。

(6) シルバー派遣事業の推進

派遣と請負・委任の区分等に留意し、適正就業に基づく運営の確保に努めました。新型コロナウイルスの影響から徐々に回復してきており、契約金額は7%の増額となりました。

(7) 事業運営の活性化

① 地区連絡会の推進

「地区連絡会設置要綱」及び「地区連絡会事業運営規約」に基づき、シルバー事業の活動促進、会員相互の親睦と連帯意識の高揚を推進するため、23地区の地区連絡会において毎年公共施設等の清掃ボランティア、各種講習会や親睦会等を開催してきましたが、令和4年度は新型コロナウイルスの影響で11地区での開催となりました。

なお、地区連絡会全体会議を開催し、各地区連絡会の活動状況について情報共有を行い、来年度の活動計画の検討を行いました。

② しんみち連絡所の利用状況

平成28年度に開設したしんみち連絡所の利用状況においては、会員の連絡用窓口施設だけではなく、女性の会のサークル及び地区連絡会の会議並びに会員の趣味の作品展等にも利用され会員の交流の場として利用されています。令和4年度は、延2,069名の会員等の利用がありました。